

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2020年2月10日
【四半期会計期間】	第74期第3四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）
【会社名】	大幸薬品株式会社
【英訳名】	TAIKO PHARMACEUTICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 柴田 高
【本店の所在の場所】	大阪府吹田市内本町三丁目34番14号 (同所は登記上の本店所在地で実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。)
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	大阪府大阪市西区西本町一丁目4番1号 オリックス本町ビル16階
【電話番号】	06-4391-1123
【事務連絡者氏名】	執行役員経理企画本部長 本間 豪
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第73期 第3四半期 連結累計期間	第74期 第3四半期 連結累計期間	第73期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年12月31日	自2019年4月1日 至2019年12月31日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	7,188,503	10,092,902	10,418,646
経常利益 (千円)	1,806,430	3,067,028	1,885,061
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	1,286,537	2,126,887	1,415,491
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,272,997	2,092,247	1,386,529
純資産額 (千円)	17,371,966	18,708,295	17,485,498
総資産額 (千円)	20,719,770	24,108,199	21,600,191
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	90.07	149.92	98.99
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	89.94	149.75	98.88
自己資本比率 (%)	83.7	77.5	80.8

回次	第73期 第3四半期 連結会計期間	第74期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年10月1日 至2018年12月31日	自2019年10月1日 至2019年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	58.46	104.88

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

##### 経営成績

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、主に感染管理事業の大幅な増収により、対前年同期比40.4%増の10,092百万円となりました。売上総利益につきましては、増収影響等から、対前年同期比43.9%増の7,458百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費につきましては、マーケティング強化に伴う販売費の増加等により、対前年同期比29.5%増の4,255百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益につきましては、対前年同期比68.8%増の3,203百万円となりました。経常利益につきましては、対前年同期比69.8%増の3,067百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、対前年同期比65.3%増の2,126百万円となりました。

セグメント別の経営成績につきましては以下の通りであります。

##### (医薬品事業)

医薬品事業につきましては、対前年同期比1.1%増の4,010百万円の売上高となりました。

国内向けの売上高につきましては、主力の「セイロガン糖衣A」が堅調に推移したこと等により、対前年同期比で増加となりました。また、リニューアルした「ピシヤット下痢止めOD錠」も増収に寄与しました。

海外向けの売上高につきましては、香港市場向け等が前年同期を上回ったものの、中国市場向けが減少したことから、対前年同期比で減少となりました。なお、中国市場向けにつきましては、通期では計画通りの着地を見込んでおります。

セグメント損益につきましては、販売費の増加等の影響により、対前年同期比2.5%減の1,619百万円の利益となりました。

##### (感染管理事業)

感染管理事業につきましては、対前年同期比89.4%増の6,076百万円の売上高となりました。

国内一般用製品の売上高につきましては、前期より開始したマーケティング戦略によるブランドカアップやインフルエンザ等の感染症流行を背景に、「クレベリン 置き型」を中心に堅調に推移し、また、新ブランド「クレベ&アンド」の製品を発売したこと等により、対前年同期比で大幅な増加となりました。

国内業務用製品の売上高につきましては、オフィス向けの需要が好調に推移したこと等により、対前年同期比で大幅な増加となりました。

海外向けの売上高につきましては、台湾市場向けを中心に堅調に推移し、対前年同期比で増加となりました。

セグメント損益につきましては、マーケティング強化に伴い販売費等が増加したものの、大幅な増収影響で吸収し、対前年同期比146.9%増の2,559百万円の利益となりました。

##### (その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は対前年同期比50.9%減の5百万円となり、セグメント損益につきましては、21百万円の損失(前年同期は23百万円の損失)となりました。

#### 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は24,108百万円（前連結会計年度末比2,508百万円増）となりました。負債合計は5,399百万円（同1,285百万円増）、純資産合計は18,708百万円（同1,222百万円増）となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は、受取手形及び売掛金の増加等による流動資産2,645百万円の増加、支払手形及び買掛金の増加等による流動負債1,245百万円の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による純資産1,222百万円の増加等であります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末から3.3ポイント減少し77.5%となりました。

#### (2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、323百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

#### (5) 経営成績に重要な影響を与える要因

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因について重要な変更はありません。

#### (6) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの資金調達の基本方針について重要な変更はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	51,024,000
計	51,024,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年2月10日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	14,422,500	14,434,500	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	14,422,500	14,434,500	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、2020年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
2019年10月1日～ 2019年12月31日 (注)1	67,400	14,422,500	77,051	865,942	77,051	777,171

(注)1. 新株予約権の行使による増加であります。

2. 2020年1月1日から2020年1月31日までの間に、新株予約権の行使により、発行済株式総数が12,000株、資本金及び資本準備金がそれぞれ14,082千円増加しております。

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしておりません。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 256,600	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,095,400	140,954	-
単元未満株式	普通株式 3,100	-	-
発行済株式総数	14,355,100	-	-
総株主の議決権	-	140,954	-

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
大幸薬品株式会社	大阪府吹田市内本町三丁目34番14号	256,600	-	256,600	1.79
計	-	256,600	-	256,600	1.79

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次の通りであります。  
役職の異動

新役職名	旧役職名	氏名	異動年月日
取締役(常勤監査等委員)	取締役(監査等委員)	中澤 一雄	2019年9月30日
取締役(監査等委員)	取締役(常勤監査等委員)	松澤 元雄	2019年9月30日

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,225,302	5,837,838
受取手形及び売掛金	3,645,574	6,961,241
商品及び製品	878,685	1,496,775
仕掛品	358,665	376,260
原材料及び貯蔵品	303,032	340,352
その他	187,631	255,335
貸倒引当金	27,000	50,000
流動資産合計	12,571,893	15,217,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,060,547	2,901,725
機械装置及び運搬具(純額)	458,190	378,370
土地	1,820,047	1,820,047
建設仮勘定	1,751,140	1,792,169
その他(純額)	281,572	300,562
有形固定資産合計	7,371,497	7,192,875
無形固定資産	237,630	259,178
投資その他の資産		
投資有価証券	740,589	736,591
その他	678,580	701,751
投資その他の資産合計	1,419,169	1,438,342
固定資産合計	9,028,297	8,890,395
資産合計	21,600,191	24,108,199
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	514,007	1,283,187
未払金	902,561	898,261
未払法人税等	440,798	686,130
返品調整引当金	191,000	272,000
賞与引当金	329,865	339,539
役員賞与引当金	65,641	100,897
その他	382,378	491,845
流動負債合計	2,826,253	4,071,862
固定負債		
長期未払金	549,500	549,500
退職給付に係る負債	699,735	725,343
その他	39,202	53,198
固定負債合計	1,288,438	1,328,041
負債合計	4,114,692	5,399,903
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	776,312	865,942
資本剰余金	982,700	1,072,330
利益剰余金	15,579,225	17,206,525
自己株式	25	539,854
株主資本合計	17,338,212	18,604,944
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	107,410	72,770
その他の包括利益累計額合計	107,410	72,770
新株予約権	39,876	30,580
純資産合計	17,485,498	18,708,295
負債純資産合計	21,600,191	24,108,199



## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	7,188,503	10,092,902
売上原価	2,005,356	2,553,255
売上総利益	5,183,146	7,539,646
返品調整引当金戻入額	150,000	191,000
返品調整引当金繰入額	149,000	272,000
差引売上総利益	5,184,146	7,458,646
販売費及び一般管理費	3,286,650	4,255,243
営業利益	1,897,495	3,203,403
営業外収益		
受取利息	2,917	3,562
受取配当金	4,521	6
為替差益	38,829	24,896
受取賃貸料	14,364	1,765
その他	3,719	2,374
営業外収益合計	64,351	32,605
営業外費用		
支払利息	-	325
賃貸費用	3,484	1,494
未稼働設備関連費用	150,052	166,473
その他	1,879	688
営業外費用合計	155,417	168,981
経常利益	1,806,430	3,067,028
特別利益		
投資有価証券売却益	1,000	-
新株予約権戻入益	250	-
補助金収入	10,730	-
特別利益合計	11,980	-
特別損失		
固定資産除却損	1,127	-
特別損失合計	1,127	-
税金等調整前四半期純利益	1,817,282	3,067,028
法人税、住民税及び事業税	486,016	964,871
法人税等調整額	44,728	24,730
法人税等合計	530,745	940,141
四半期純利益	1,286,537	2,126,887
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,286,537	2,126,887

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,286,537	2,126,887
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	13,539	34,640
その他の包括利益合計	13,539	34,640
四半期包括利益	1,272,997	2,092,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,272,997	2,092,247

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	334,656千円	366,256千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	355,937	25	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金
2018年11月9日 取締役会	普通株式	143,246	10	2018年9月30日	2018年12月14日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	358,601	25	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金
2019年11月8日 取締役会	普通株式	140,984	10	2019年9月30日	2019年12月13日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2019年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式256,600株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が539,828千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が539,854千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,968,574	3,207,730	12,198	7,188,503	-	7,188,503
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	3,968,574	3,207,730	12,198	7,188,503	-	7,188,503
セグメント利益又はセグメ ント損失( )	1,660,730	1,036,676	23,078	2,674,329	776,834	1,897,495

(注)1.セグメント利益又はセグメント損失( )の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2.セグメント利益又はセグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,010,678	6,076,229	5,994	10,092,902	-	10,092,902
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	4,010,678	6,076,229	5,994	10,092,902	-	10,092,902
セグメント利益又はセグメ ント損失( )	1,619,829	2,559,150	21,461	4,157,518	954,114	3,203,403

(注)1.セグメント利益又はセグメント損失( )の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2.セグメント利益又はセグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	90円07銭	149円92銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,286,537	2,126,887
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,286,537	2,126,887
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,283	14,187
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	89円94銭	149円75銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(千株)	20	16
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2020年2月10日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことを決議致しました。

(1) 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整えるとともに、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

分割の方法

2020年3月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき3株の割合をもって分割致します。

分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	14,434,500株
株式分割により増加する株式数	28,869,000株
株式分割後の発行済株式総数	43,303,500株
株式分割後の発行可能株式総数	153,072,000株

(注)上記の発行済株式総数は、新株予約権の行使により株式分割の基準日までの間に増加する可能性があります。

分割の日程

基準日公告日	2020年3月16日
基準日	2020年3月31日
効力発生日	2020年4月1日

1 株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益	30円02銭	49円97銭
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	29円98銭	49円92銭

(3) 株式分割に伴う定款の一部変更

定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき2020年4月1日をもって、当社定款第6条の発行可能株式総数を変更致します。

定款変更の内容

変更の内容は以下の通りであります。

(下線は変更箇所を示しております。)

現行定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>51,024</u> 千株とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>153,072</u> 千株とする。

定款変更の日程

効力発生日 2020年4月1日

(4) その他

資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

新株予約権の行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、当社発行の新株予約権の1株当たり行使価額を2020年4月1日以降、以下の通り調整致します。

取締役会決議日	調整前行使価額	調整後行使価額
2010年12月15日	1,287円	429円
2017年9月15日	2,257円	753円

2 【その他】

2019年11月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次の通り決議致しました。

- (1) 配当金の総額 140,984千円  
(2) 1株当たりの金額 10円00銭  
(3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 2019年12月13日

(注) 2019年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月10日

大幸薬品株式会社

取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 梅田 佳成 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 余野 憲司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている大幸薬品株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、大幸薬品株式会社及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）1．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。